



発行

角館中学校PTA広報部

印刷 / 膳写堂印刷

先輩方から学んだ「生きる力」

総務部長 阿部 琴子

今年度の総務部の事業は、校長先生からの御提案もあり、キャリア教育講話「ようこそ先輩、先輩から学ぶ」を行いました。一人でも多くの子供達が将来への目標を持って、社会の一員としての自覚と「生きる力」を身につけて、これから大きく成長していく手助けになればと考えての講話でした。内容としては、各界で御活躍されている角館中学校の先輩方をお招きして、今の職業に就いた

理由や仕事に就いてからのやりがい、また、目標に向かってどのような努力をしたのかなど、ご自身の学生時代の経験も含めてお話しして頂きました。学校の教室を利用した講話で、生徒が一時間目と二時間目の二回に分けて教室を移動する形で行いました。学年が混ざり、自分が興味を持った職業の話聞く事は新鮮だったと思います。講話の内容も分かりやすく、写真を見ながらの説明やホワイト

ボードを使つてのクイズ形式、実際に使用している器材を用いての説明があつたりと、とても工夫されたお話ばかりで、子供達も目を輝かせて先輩方の話に聞き入りました。どのお話からも地元角館を大切に思う気持ちが感じられたり、学生時代の時間の大切さや、失敗しても次の経験へ生かす人生の学びを教えて頂きました。講師の先生方には、お忙しい中貴重なお話を頂き本当に有難うございました。今回の講演会の開催準備では、校長先生をはじめ学校の先生方に細かい所まで御配慮と御協力をし

て頂き本当に有難うございました。また、部長として頼りない私でしたが、総務部皆様の御協力を得て無事に成功する事ができました。有難うございました。

(三D 有沙)

進む情報化社会を生きる

子どもたちのために

教頭 三浦 政喜



今の中学生が、高校に合格したお祝いに買った

表会場から、そのままショップに寄つて、初めて携帯電話を手にするというようなパターンが多かったように思います。

今年九月に行った調査では、本校三年生の携帯電話、スマートフォン所持率は、四〇・一％でした。四月に実施した、全国学力・学習状況調査の子どもの生活習慣全般アンケート結果によると、全国の中学校三年生の所持率は七八・六％、秋田県は六八・六％(全国四十三位)という数値でし

た。このような現状を見ると、今の中学生は、高校に合格したら機種変更とでもなるのでしょうか？今朝のニュースで、某通信会社が行った調査で、高校生の一日のスマホ操作平均時間は、四時間であったと報じられていました。使い方は様々でしょうが、一日の限られた時間の中で四時間というのは、完全にスマホに支配された生活のように感じられるのは私だけでしょうか。

今後、ますますメディア機器が進化し、情報化が進むこれからの社会を安全に生き抜くためには、「情報モラル」心構えを基盤としながら、まずは、その特質や仕組みの理解が必要であると思います。同時に、様々な情報源から得

られる情報を素直に受け取るだけでなく、批判的に読み取り吟味できる力をつけていくことも求められると思います。これらの力を子ども達に育むために、この後も、学校、家庭が共同しましょう！



未来に向かって ～大きな一歩を～

科学部の活動

科学部 伊藤 美季

科学部の活動は理科研究発表会での発表を主軸に、すずかけ祭での発表、実演コーナー、自然科学に関する見学会などでした。

テーマを決め、推論から実験、検証。結果が出てからは、発表のためにわかりやすい構成を考え伝えると、最初から最後まで、グループの仲間と一緒に作りあげるという日常ではなかなかできない体験をさせてもらったと思います。今年度は新入部員がなく、さびしいスタートで、また発表会もテーマを決めるのは早かったのですが準備が整わず苦労したようです。そんな中でもグループでまとめあげ発表できたのは、この三年間で学んだ筋道を立てる方法と、先生のご指導のおかげです。ありがとうございました。(三A 翔太)



活動を終えて

オーケストラ部 伊藤 弘昭

今年度はコンクールに加え、クニマスガラコンサートでの演奏や、野球応援では県大会で応援する機会に恵まれました。地域の皆様にも演奏を聞いて頂くことが多く「地域の中のオーケストラ部」での存在が際立ったと思います。

顧問の奈良先生はじめ、安藤真理先生や父母の方々の演奏指導を頂き、和やかな中にも緊張感を持った練習等、充実した時間を共有させてもらいました。

保護者の皆様には、送迎や楽器の運搬他、部員達がのびのび演奏できる環境作りに協力頂き、御礼申し上げます。

オケ部は県内で唯一の管弦楽部であり、恵まれた環境を誇りに思いこれからも頑張つて欲しいと思っています。応援しています。

(三A 花)



三年間を振り返って：

英会話部 伊沢 雅子

入学後、英会話部に入学したいと聞いた時には正直驚きました。入部締切の当日、今まで希望していた部を突然変更し、慌てて提出書類を書き直した記憶が昨日の事のように思い出されます。

入部当初は手探り状態で不安でしたが、パソコンを使った活動や先輩、先生方のご指導により、次第に楽しみながら活動出来る様になっていった様です。

部長という大役を引き受けてからは、ますます意欲的に活動し、特にすずかけ祭では部員の皆さんや先生方と協力して、一つの物を作り上げる事の難しさ、楽しさを学ぶ事が出来たのではないかと思います。

生活福祉部

生活福祉部 古郡 和広



三年間、関わって頂いた全ての方に感謝申し上げます。(三A 菜々香)



娘が春から部長を務める事になり、娘も私も少々不安があったものの皆に支えられながら最後まで務める事が出来ました。思い出としての活動内容は、春の壮行式のくす玉作り。(ちよびつとし)が開かず皆でボールを当てたり、棒で突いたりしてようやく割ることが出来ました。(学校祭では手芸などして失敗や成功を繰り返したが無事成功する事が出来、今では皆の輪が広がったと私は思います。これからも、先輩の皆が部活の中や外など、色々な所で人の輪を広げて行ける様な部員になってくれる事を願っています。

そして皆様には三年生と生活福祉部を応援していつて欲しいです。

(三D 恵菜)

美術部の活動を終えて

美術部 阿部 宏幸

美術部の活動として、夏の絵どうろう祭りへの参加、アートグランプリの作品制作、そして何より本年度は県展への出品を果たし、五名もの入選者を出した事など、とても輝かしい結果を残せた部活動であったと感じております。特に絵どうろうの作成と、すずかけ祭の準備では、一人一人が仕事を分け、協力し合い成功させる事ができました。

今後も、部員全員が力を合わせ美術のすばらしさを伝える事ができる様頑張ってもらいたいと思います。

最後に、ご指導頂きました、長澤先生、ご協力頂きました保護者の皆様へ感謝申し上げます。

(三A 春音)



思わない夢は叶わない!

野球部 高橋 幸人

夢は何?の問いにプロ野球選手。目標は何?と聞けば、全県優勝と返ってくる部員達。大きな目標ですが、そこから努力の始まりと私は思っております。「勝つ・上手くなる」という強く思う気持ちが、あるからこそ、辛い練習に耐え失敗を重ねて結果が出るのではないのでしょうか。部員、指導者、保護者全員の思いを一つにして夢を叶えたいと思っております。先輩方の様に強く成りたいと目標を掲げた後輩達ですが、結果は思いも気持ちも弱く負け。新人戦を反省して、来期の活躍を期待します。

(二C 太陽)

仲間を大切に

サッカー部 蝦名 寿仁

新チームは、部員七名。十一人揃ったのサッカーができない状況となり、他校との合同チームで新人戦に臨んだ。子供たちは十一人で試合ができる喜びを噛み締めた。合同練習はできず、試合の時のみ顔を合わせるといった決して恵まれた環境ではない。しかし、今まで以上に仲間の大切さを学び、試合を重ねるごとに、チームとしてまとまってきた。これから監督や指導者・仲間をリスペクトし、全力で納得のいくサッカーをしよう。ボールを繋いだ先に、きっと勝利が見えてくる。

(二C 隼仁)

ガンバレ柔道部

柔道部 児玉 春美

今年度の柔道部は三年生二名、新たに一年生が七名加わり、九名のスタートになりました。総体では三年生が個人戦で県大会、東北大大会出場を決め、一年生の目標となる成績を残してくれました。三年生の部活動が終わり、一年生だけの新人戦では、団体個人と県大会に進む事ができ、緊張で迎えた県大会では、団体ベスト8、個人女子優勝と良く頑張りました。でも、まだまだ個々に課題があるのでは?まずは自分の試合を振り返り自分に足りない物を補うよう、毎日の練習に励んで下さい。

(一B 文汰)

剣道部の活動を通して

剣道部 三浦 彩子

部員三名。団体戦に出場するために最低人数ではありますが、出町先生、有隣館道場、角高剣道部の皆さんに支えていただきながら日々楽しく稽古に励んでいます。

中学校から剣道を始めて、他の人達についていけないのか不安でしたが、大会のたびに成長が見られ、それは剣道の技術だけではなく、あいさつや所作など、内面的な成長でもあり、親としては大変うれしく思っています。

これからも、剣道部の生徒達が支え合い成長していけることを願っています。

(一A 翼空)

「全県制覇」を目指して

男子バスケットボール部 千葉 俊明

四月に入部させていただいた、一年生の五名のみのチームとしては、最少人数での今現在の活動となっております。

初めての新しいチームでの公式戦である秋の郡新人戦で相手チームは、ほぼ一年上のチーム相手に、私達父兄の思っていた以上に、奮戦し最後の試合では、惜しくも二回の延長の末、負けはしましたが、私的には勝ちに等しい試合だったと思います。

今は負けても君達なら出来る。ミニバス以来の目標の全県制覇を最後に掴みとれ。応援しています。

(二A 洗之介)

チームメイト

女子バスケットボール部 藤枝 優

試合に出たい、勝ちたいと思いが、コートに立っているのは五人だけ。どのチームにも試合に出場する選手としない選手がいる。出場がかなわなかった選手にとっては、複雑な気持ちを抱く場となったかもしれない。しかし、今その気持ちを乗り越え、チームメイトは一つになっている。きっとそれは、共にある時間の積み重ね、お互いの存在が尊いものとなったからだと思う。残り半年、チーム全員が納

得する結果を、個々の力を合わせて勝ち取ることを強く願っている。

(二C 愛美)

次の問いに答えよ

男子ソフトテニス部 富木 法一

自分がポイントを決めたときにひとり威張っていませんか? 自分のペアがミスをしたときに心の中で責めていませんか? ピンチになったときにひとり焦っていませんか?

思い通りプレー出来ないときの言い訳をいつも人のせいにして、自分自身から逃げていませんか? 今やるべき事は何か?

壁の向こう側にあるまだ見ぬ景色を見てみたいと思いませんか? 気づいた人は今すぐ行動に移し、威風堂々その応えをテニスコートの上で魅せてください。

(二D 凌)

新チーム角中 女テニのみんなへ

女子ソフトテニス部 畠山 一幸

三年生の先輩三人が抜け新チームとなり色々な課題が少しずつ見えてくる頃かなと思います。先輩が抜け、自分達がチームという輪の一員として、角中女テニを仲間と共に一喜一憂しながら盛り上げて下さい。春季大会に向けしっかりと基礎体力をつけて二年生は先輩方より一つでも多く勝ち進み、一年生は、先輩をサポートしつつ自

分を磨き来年の新人戦を目標に、鈴木監督にくらいいついていきましよう。そして保護者の皆様毎回送迎等ご協力ありがとうございます。引き続き宜しくお願い致します。
(二A 華歩)

相手に負けない位 声を出そう

バレーボール部 草薨 崇

新チームになって、練習試合や各校の招待試合や新人戦を戦ってきて少しずつではありますが畠山先生の指導のもと部員一人一人が上手になってきていると思います。しかし試合を見ていて毎回思うのがプレー中や負けている時や試合の後半など、声が出ていない。

強いチームは、やはり声が出ていて最後まで出し続けているので自分たちも技術は元より、相手に負けない位の声を張りあげて、この先の試合一勝でも多く勝つ事が出来るようにこれからも頑張っていきたいと思います。
(二A 楓)

試行錯誤

女子卓球部 加藤 侯信

代が変わり四ヶ月。新人戦では三名が県大会出場を果たしました。しかし目標は団体での県大会出場です。三位という結果に誰も満足していません。県大会の舞台で戦う事が出来ず「次こそ自分達が」という思いがより一層強くなりました。しかし口だけ立派でも実行

しなければ目標は遠のく一方です。チーム全体の底上げが必要となつてきます。全員の日々の積み重ねが必ず実を結ぶと信じています。保護者一同一丸となりサポートします。努力あるのみ。
(二A こゆき)

頑張る時はいつも今

男子卓球部 藤田 剛

新チームで、新人戦、田沢湖SC大会を戦い、チームとして、又個人として取り組むべき課題が見つかった今、仲間ですれを達成できる様努力してもらいたい。

中学校の三年間で、部活動の活動時間は、あつという間である。悔いのない様、練習時間を大切に日々努力してほしい。

団体戦、個人戦共に全員が、全県大会出場を目標に、卓球を通して、体力及び精神力の向上を願います。

保護者会是最強のサポーターとして、常に応援し見守っています。

(二C 龍聖)



すずかけ祭

テーマ: Smiling

～ はじける笑顔で角中最高のおもてなしを～

